

会議録【全文筆記】

| 会議名称 | 令和6年度第2回米沢市行政経営市民会議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|-------------------|--|--|--------|---------|-----|---------|-----------|------|--------|-------------|-----|---------|--------------|-----|---------|-------------|-----|---------|---------------|-----|-------|--------------|-----|-------|------|-----|-------|--------|-----|---------|-------------------|-----|---------|---------|
| 開催日時 | 令和6年8月5日（月） 午後3時00分～午後4時30分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開催場所 | 米沢市役所3階 庁議室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出席者 | <table><thead><tr><th></th><th>（委員氏名）</th><th>（所属団体等）</th></tr></thead><tbody><tr><td>委員長</td><td>神 原 祐 哉</td><td>神原法律事務所</td></tr><tr><td>副委員長</td><td>中 川 恵</td><td>米沢女子短期大学</td></tr><tr><td>委 員</td><td>青 山 浩 子</td><td>プラットヨネザワ株式会社</td></tr><tr><td>委 員</td><td>伊 藤 優 子</td><td>株式会社ニューメディア</td></tr><tr><td>委 員</td><td>岩 崎 令 子</td><td>米沢観光コンベンション協会</td></tr><tr><td>委 員</td><td>大 竹 茂</td><td>山形おきたま農業協同組合</td></tr><tr><td>委 員</td><td>菊 地 智</td><td>山形銀行</td></tr><tr><td>委 員</td><td>鈴 木 修</td><td>米沢信用金庫</td></tr><tr><td>委 員</td><td>高 橋 郁 子</td><td>学校法人松原学園 ひばりが丘幼稚園</td></tr><tr><td>委 員</td><td>田 中 明 子</td><td>米沢商工会議所</td></tr></tbody></table> | | | | （委員氏名） | （所属団体等） | 委員長 | 神 原 祐 哉 | 神原法律事務所 | 副委員長 | 中 川 恵 | 米沢女子短期大学 | 委 員 | 青 山 浩 子 | プラットヨネザワ株式会社 | 委 員 | 伊 藤 優 子 | 株式会社ニューメディア | 委 員 | 岩 崎 令 子 | 米沢観光コンベンション協会 | 委 員 | 大 竹 茂 | 山形おきたま農業協同組合 | 委 員 | 菊 地 智 | 山形銀行 | 委 員 | 鈴 木 修 | 米沢信用金庫 | 委 員 | 高 橋 郁 子 | 学校法人松原学園 ひばりが丘幼稚園 | 委 員 | 田 中 明 子 | 米沢商工会議所 |
| | （委員氏名） | （所属団体等） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委員長 | 神 原 祐 哉 | 神原法律事務所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 副委員長 | 中 川 恵 | 米沢女子短期大学 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 青 山 浩 子 | プラットヨネザワ株式会社 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 伊 藤 優 子 | 株式会社ニューメディア | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 岩 崎 令 子 | 米沢観光コンベンション協会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 大 竹 茂 | 山形おきたま農業協同組合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 菊 地 智 | 山形銀行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 鈴 木 修 | 米沢信用金庫 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 高 橋 郁 子 | 学校法人松原学園 ひばりが丘幼稚園 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 田 中 明 子 | 米沢商工会議所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 欠席者 | <table><thead><tr><th></th><th>（委員氏名）</th><th>（所属団体等）</th></tr></thead><tbody><tr><td>委 員</td><td>岸 弘 行</td><td>米沢公共職業安定所</td></tr><tr><td>委 員</td><td>渋谷 文 男</td><td>連合山形置賜地域協議会</td></tr><tr><td>委 員</td><td>杉 本 俊 之</td><td>山形大学</td></tr><tr><td>委 員</td><td>新 田 真有美</td><td>公募委員</td></tr></tbody></table> | | | | （委員氏名） | （所属団体等） | 委 員 | 岸 弘 行 | 米沢公共職業安定所 | 委 員 | 渋谷 文 男 | 連合山形置賜地域協議会 | 委 員 | 杉 本 俊 之 | 山形大学 | 委 員 | 新 田 真有美 | 公募委員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | （委員氏名） | （所属団体等） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 岸 弘 行 | 米沢公共職業安定所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 渋谷 文 男 | 連合山形置賜地域協議会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 杉 本 俊 之 | 山形大学 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 新 田 真有美 | 公募委員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務局出席者 | 総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、建設部長、会計管理者、上下水道部長、市立病院事務局長、教育管理部長、教育指導部長、議会事務局長、選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長、農業委員会事務局長、総務課長、財政課長、財政課管財主幹、政策企画課長、教育総務課長、政策企画課長補佐、政策企画課経営政策主査、政策企画課主事（経営政策担当） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会議次第 | 1 開 会 2 委員長あいさつ 3 議 事 （1）米沢市人口ビジョン（案）及び米沢市デジタル田園都市構想総合戦略（案）に係るパブリック・コメントの結果について （2）第2期米沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について （3）デジタル田園都市国家構想交付金の実績について （4）米沢市公共施設等総合管理計画に係る事業実施状況について （5）米沢市公共施設等総合管理計画個別施設計画の改定について 4 閉 会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会議資料 | 次第 委員名簿 資料1ー1 米沢市人口ビジョン（案）及び米沢市デジタル田園都市構想総合戦略（案）に係るパブリック・コメントの結果 資料1ー2 米沢市人口ビジョン（案）に係るパブリック・コメント後の修正箇所 資料1ー3 米沢市人口ビジョン 資料1ー4 米沢市デジタル田園都市構想総合戦略 資料2ー1 第2期米沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価シート 資料2ー2 数値目標及び重要業績評価指標（K P I）の県内他市との比 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|---|--|
| | <p>較について</p> <p>資料 3 デジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業実績及び評価・検証</p> <p>資料 4 米沢市公共施設等総合管理計画に係る事業実施状況について</p> <p>資料 5-1 米沢市公共施設等総合管理計画個別施設計画の改定について</p> <p>資料 5-2 米沢市公共施設等総合管理計画個別施設計画改定 工程表</p> |
| 会議内容 | |
| <p>【1 開会】</p> <p>省略</p> <p>【2 委員長あいさつ】</p> <p>皆さんこんにちは。</p> <p>本日も非常に暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>今回は急に開催がなくなったということで、ご迷惑をおかけしました。まず、間が空いたということもありますが、不要な議論ということはないと思いますので、ぜひ、忌憚のないご意見、ご発言をお願いいたします。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>【3 議事】</p> <p>(1)米沢市人口ビジョン（案）及び米沢市デジタル田園都市構想総合戦略（案）に係るパブリック・コメントの結果について</p> <p>（資料 1-1 について事務局から説明）</p> | |
| 委員 | <p>人口減少していく中で、10 年後 20 年後米沢市をどうしたらいいのかというところで、先週開催の総合計画審議会で見解書を提出させていただきましたけれども、やはり現在の市民サービスを維持していくということが一番の課題ではないかと思っておりますので、担い手不足になってくるサービスをどうやって維持していくかというのが今後の課題になるのではないかなと思っております。そのデジタル化が必須だと考えますので、人間ができないことをデジタルで補っていくということが今後ますます大事になっていくのではないかなと考えております。</p> |
| 事務局 | <p>確かにデジタル化、担い手がどんどん不足していく中で、行政もそうですけれども、事務の効率化も図っていかなければいけないと思います。さらには、住民サービスの向上というものも引き続きしていかなければいけないと思っています。そちらについては、やはりデジタルを活用した様々な取り組みが必要だと思っておりますので、今後そういった内容につきましては、検討させていただきたいと思っています。</p> |
| 委員 | <p>ただいま人口減少をどう抑えていくかというようなご意見があったわけですが、私の立場からしますと、保護者の方とか様々な方との関わりの中で、身近なこととして、予防接種の無料化にしてもらえないだろうかとか、屋内遊戯施設などの結構声が大きかったんですけれども、少子化対策っていうのは、ただ単に目先のことだけではなく、様々なことが絡み合っているということを感じるようになりました。</p> <p>消滅可能性自治体に長井市と高畠町が加わったということで、米沢は辛うじて山大生と米短生との兼ね合いで何とか免れているということの</p> |

ようですけれども、例えば山形大学工学部の研究費は年々減少していますとありました。地域企業の技術開発の開発力の強化に大きく寄与していますということも書いてありましたけれども、やはりここを大事にしていかななくてはならないのではないかと思います。有機ELの城戸先生をもう少し大事にさせていただくとか、そのあたりももしかしたら絡んでくるのかなというようにこのコメントを見て感じたところでした。

事務局

市内には山形大学工学部や米沢栄養大学、県立女子短期大学などありますけれども、特に山形大学工学部につきましては、その機能を活用した産業集積であったり、地域企業との連携による様々な技術力の強化が非常に大事なところだと思いますので、今いろいろと商工課を中心に取り組んでおりますけれども、こちらについては引き続き力を入れながら、進めていかなければならないと思っていますところです。

(2) 第2期米沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について
(資料2-1、2-2について事務局から説明)

委員

社会増減、数値目標2の「ひと」に関してのところの内容の確認になりますが、本市は令和5年に684人減ということで、これは他の市町村と比べると一番多いということになっていて、本市の考え方としては、これは数年前の令和3年、4年はコロナで抑制されていた人口移動が活発になったという認識でよいのでしょうか。令和5年は増えたけれども、ならしてみるとそれほど大きな変化ではなく、目標値としては達成していくような見通しのイメージなのかなということなので、令和5年の実績が684人多かったという理由がコロナの一時的なものという理解でいいのかということと、今後の見通しとしては、もちろん見通せないところもありますが、どのようなイメージなのかなというところをお聞かせいただければと思います。

事務局

令和5年の数字ということで684人の転出超過という数字を掲げさせていただいております。この数字が、実際にコロナで人口移動が抑えられていたものが、令和5年で急に増えて人口の移動が活発になったという理由を書かせていただいております。

実際に、これがどのようになっていくのかというのは今後の推移を見なければいけないと考えておりますけれども、現在毎月ごとの推移を分析しているところもありますので、今後そういったものを見ながら、転出の状況はどのようになっていくか今後の推移を見守りたいと考えております。

委員

推移は少しまだわからないが、こういう原因じゃないかということで承知しました。

アニメーションの結果はどうなるのかなということで、私自身とても関心を持って楽しみにしていたのですが、アニメーションでの観光への影響はいつごろ実績の数値や効果を取りまとめるイメージなのか、スケジュール感を教えていただければと思います。

事務局

アニメ関係ですけれど、実はネットフリックスの方にも色々お聞きを

していますが、具体的なご覧になっている方の人数というのは把握できないところです。あと、国内の映画館で上映している人数についても色々お聞きをしているところですが、なかなか把握できない状況になっております。

こういった中で具体的な効果をどのように把握するかということですが、6月からスタンプラリーを実施しておりますので、そちらの参加者数であったり、あるいは少し前になりますが、プレミアム試写会を行いましたので、その駅周辺の観光者数であったり、今作っております旅行商品については制作会社の方々との調整があり、1つ1つ許可をいただけないと作れないということもあって少し苦慮しているところですが、そのような旅行商品の参加者数などをトータルして把握していきたいと思っております。また、コラボ商品も考えておりますので、冬前までにはある程度この数字について把握できるのではないかと考えているところです。

委員長

そのトピックについて私も非常に興味があるので、ぜひ効果が上がるように頑張ってくださいと思います。小野賢章さんとか、ぜひまた来ていただければと思います。

委員

ふるさと納税の項目を目標に掲げていらっしゃるわけですが、その返礼品で納税額が大分変わってくるわけで、地元の産業の発展にも繋がりますし、そういう特産品の掘り起こしのものも、やはり考えていければと思います。特に、農産物は活用していただきたいわけですが、それを子育ての充実とか、雪対策に使うとか、そういう目的があればできると思いますが、アクセス米沢さんの方とも協議しなくてはならないと思いますが、道の駅にふるさと納税を受け付けるコーナーみたいなのはできるものなのではないでしょうか。最近、道の駅がなんとなくマンネリ化と言ったら失礼ですが、ずっと同じような感じで、活気がやや停滞しているのではないかと感じるかもしれません。当局の判断は難しい面もあるかとは思いますが、いかがでしょうか。

事務局

ふるさと納税ですが、今、返礼品についてはカテゴリーで言いますと13のグルーピングがありまして、品数で言いますと600から700くらいあるところです。

今、お話がありました道の駅では、道の駅と上杉城史苑で、その場でふるさと納税をしていただけるようなチョイスペイという仕組みを市内で2ヶ所導入させていただいております。ただ、すべての返礼品を紹介することはなかなかできませんので、本市ではお米とくだもの、牛肉の3つが上位の3つですので、その他特徴的なものを紹介できるようにそういうご提案いただきましたので、そこについては事業者間と協力してお話をさせていただきたいと思っております。

なお、関連して申し上げますけれども、お米については去年の猛暑の影響もあって、返礼品をストップしているところでありまして、また新聞でも出ていましたけれども、さくらんぼについても受け付けをさせていただいておりますが、送付できないということもあり、なかなか農産物についてPRしていく上で難しい課題もありますので、整理しながら考えていきたいと思っております。

委員

(1)の人口ビジョンのところとも関係するのかもしれませんが、基本目標 2 の社会増減というところでいきますと、県内で米沢市が最下位ということでもあります。(1)の人口ビジョンの意見の中には、特に若者の減少という課題があると認識をしております。

その中で私が考えておりますのが、山形大学工学部の学生の方々の県内の就職というところでありまして、先ほど県内に残らない要因ということで、給与水準と就職活動の多様化というお話があったかと思いますが、新卒の学生を毎年預かっている身といたしますともう 1 つ要素があるのかなと思っております。

最近、新卒で入ってこられる職員は給与とかについてはあまり言わないです。何を思っているのかなと感じているのは、やりがいがある仕事がしたいということをよく言う職員が多いという印象があります。最近の傾向とすると早めにやめる人もいますが、そういう人たちは以前ですと違う就職先を探してから辞める方が多かったのですが、最近はそういったこともなく、やりたいと思っていたことと違うからということで辞める方も結構多いと感じております。

そういうことを勘案いたしますと、山形大学の工学部の学生さんに関してだけに捉えると、やはり県内に勤めたい企業があまりなくなってきたのではないかと感じる場合があります。米沢市の工業団地というのは、山形県内でも先駆的な団地だという認識ではおりましたけれども、場所がなくなってきたしまっているということもあり、最近はその誘致の企業数もなかなか他市にも及ばないところもあるかなと思っております。そういう意味では、新市長のお話の工業団地の整備、そして魅力的な仕事をしている企業の誘致というのが、学生の県内就職への 1 つの策なのかなということを考えて次第でございます。

事務局

今、山形大学工学部の学生のお話がありました。工学部の学生さんに限って申し上げますと、大学の先生ともお話したことがありますが、ご卒業された方の多くがどちらかというと首都圏であったり、あるいは出身地、あるいは中部地方の企業に就職されているというような話を聞きます。やはり出身地にお帰りになる方もいらっしゃいますけれど、そのような特徴があるということです。

一方で、委員からもお話がありましたけれども、そのやりがいがある仕事と自分がつきたい就職先、そういうものが米沢にも不足しているというようなこともやはり考えられると思います。産業団地のお話もありましたけれど、今いろいろ企業からご相談をいただいても、十分お答えできない、用地を提供できない状況にありますので、産業団地の整備についても、慎重に慎重を重ねた上になりますけれども、いろいろな業種を地域に作っていく、そのようなことも学生や若い人に残っていただくには非常に大事なことであると思いますので、そこについてもしっかり考えていきたいと思っております。

委員

基本目標の全体を確認してみると、基本目標 3 にあたる未来を担う「ひと」を育むというところがなかなか目標に到達するのが難しい、苦戦しているところなのかなというように読みました。

そうしますと、例えば次の期になって、基準値や目標値を設定してい

くというようなときには、今回のこの 5 年間の実績値を基にしてまた基準値を考えていくというイメージなのでしょうか。特に、基本目標 3 に関しては、なかなか今、達成が難しい状況があるようにお見受けしたのでお聞かせ頂ければと思います。

事務局

基本目標 3、合計特殊出生率などの数字を目標値として掲げております。確かにこれまでの実績も踏まえますと、目標掲げている 1.6 という数字を達成するというのはかなり難しい状況と考えております。

次回の総合戦略を策定する際に、もちろんこれまでの実績などを踏まえて目標値を改めて設定する必要があると考えております。先日、人口ビジョンの方も作りまして、そちらでもある程度、合計特殊出生率を少し高めにするような目標も掲げておりますので、そういったものとリンクをさせ、今までの実績値を見ながら改めて数値の方は設定をさせていただきたいと考えております。

委員

特に、他の目標もそうですが、基本目標 3 に関しては、1 個 1 個の K P I を足し合わせていったから必ず達成できるというものでもないという性質が特に強いのかなと思いましたので、K P I をどう設定するかということも特に基本目標 3 では大事になるかと思いました。

委員

観光客の入込数については、日本の方、外国の方を含めての人数、K P I になってらっしゃると思いますが、インバウンドに特化した数字というのはございますでしょうか。

事務局

米沢市を選んで観光にいらっしゃるインバウンドの方の人数ですが、そこにつきましてはデータがないというところです。山形県でインバウンドの入込み客数を調べておりますけれども、米沢に特化したデータはないということで把握できない状況でした。

委員

計画の中でかなりインバウンドに力入れてらっしゃると思いますが、効果測定をどのようにやっていかれるのでしょうか。

事務局

インバウンドの把握の仕方ですけれども、課題に書いておりますが、特に台湾へのプロモーションというところで力を入れているところです。

昨年ですけれども「巨匠」という台湾の旅行会社や「東北ジャパン」で台湾へのプロモーションを実施しておりますので、そのようなところで市内の宿泊施設について、海外からのインバウンドの方の人数を把握できないかというようなことをご相談させていただいておりますので、どういった集計ができるかなんですけれども、主に宿泊施設をご利用いただいた方の人数については、何とか把握していきたいと事務局で捉えているところです。

委員

実は、先ほどのアニメーション映画に関してもそうですけれども、ネットフリックスで公開されていることによって、インバウンドの観光客がどれぐらい米沢市に訪れたかということも、知りたい指標の 1 つではあります。あと、NCVでは、総務省からの補助金を使って、アメリ

カの方で米沢市の観光CM30秒のものを作って、アメリカのテレビ局で観光CMを流したいということで観光課と一緒に取り組んでいるところです。その指標としまして、ビフォーアフターで米沢にインバウンドの観光客が増えたかどうかというところを、総務省への報告義務などもあったものでお尋ねさせていただきました。

委員

自主防災組織の組織率とありますが、その組織とはどのような組織なのか一番初歩のところだと思いますが教えてください。

事務局

自主防災組織につきましては、それぞれ主要な地区の中に町内会などそういった単位の組織がございますけれども、そちらをまず基本的に中心に組織をされているということでございます。

県内で最下位ということを受けまして、小さい単位ではなかなか組織率が上がらないとすれば、もう少し複数の町内が合わさった形で連携して取り組めないかですとか、防災士の資格を取った60名を超える市民の方がいらっしゃいますので、そういった方々にご協力をいただきながら、少しでも自主防災組織の組織率を上げられないかということで、担当のほうでは一生懸命取り組みをさせていただいているところでございます。

委員

先ほどのパブコメの9ページのところに、商工会議所の存在意義のようところが書かれてありまして、商工会議所の機能が低い、機能しなければ会議所はいらないのではないかなというような市民の声がございまして、やはり厳しく見られているということを改めて実感したところです。

その中で、2ページ目のところに人材確保定着促進事業ということで、米沢市の商工課さんと一緒にやらせていただいている事業のKPIなども載っております。延べ人数1万人に対して昨年度の実績が6,000人足らずというようなことで、こちらの事業も、まだまだしっかりとやっていかなければいけないなというように思ったところです。

この人材確保の事業がどちらかというと、今は高校生と大学生向けの事業となっているのですが、こういった地元の企業を小学生のうちからしっかりと勉強をしていくべきではないかという意見があり、令和4年度と5年度の2年間で、小学生向けに市内の企業を知っていただくためのビデオの作成をしました。2年間で20社ぐらいのビデオを作りまして、それを小学校で小学生の皆さんに見ていただいて、地元の企業をしっかりと認識していただくというようなことを米沢市の方からお話をいただいて取り組ませていただいたのですが、令和6年度は残念ながら予算がないというようなことで、この事業が打ち切りになってしまいました。やはり小学生のうちから地域を知っていただくことが大事だというようなことはよく言われておりますので、できればこの事業の中で対象を小学生まで広げていただいて、しっかりと小学生のうちから市内の様々な企業を知っていただいて、中学、高校になっても地元こういった企業があるんだな、じゃあ就職を考えてみようかというようなきっかけづくりになっていただければという思いもございます。

この事業の中で、WAKU WAKU WORKで地元の企業を知っていただく機会や合同企業説明会をやっておりますが、中にはWAKU

WAKU WORKがきっかけで、市内のこの企業に就職を希望しましたというような生徒さんも少なからずおりますので、ぜひそういったところも米沢市の方で検討していただければと思います。

事務局

今、委員からお話があった事業については、大変残念ながらそのようなことでありました。

一方で、少し視点は変わりますけれども、来年、米沢鶴城高校が開校いたします。米沢商業高校と米沢工業高校、そちらにつきまして商工会議所、両高、そして市で産学官連携コンソーシアムを設立し、商業高校と工業高校が実践しております人材育成の教育等の取組みについて、地域の企業のご協力をいただきながら継続して支援しているところです。あわせて、その学生さんの就職につきましても支援しているということで、校長先生からも大変効果が上がっているというようにお話もありますので、こちらについては継続した取組みを進めていきたいと思えます。

人材確保定着促進事業の中でもハローワーク米沢管内の場合は、やはり一旦新規学卒者が県外に行ってしまうということもありますので、戻ってきていただく、そして就職していただけるような情報発信についてもこの人材確保定着促進の事業の中で、ぜひ力を入れて取り組んでいくべき事業だと思っておりますので、引き続きご協力よろしくお願いいたします。

(3) デジタル田園都市国家構想交付金の実績について
(資料3について事務局から説明)

委員

こうしてまとめていただくと、特に1のDMO設立と推進は、とても大きな観光消費額に大きな成果を上げたということが見えるのですが、この2のリボーンプロジェクトに関しては、入湯税の比較など見ると、思ったような成果ではなかったのかなというようにお見受けしました。

それでお聞きしたかったのは、この主要な旅館の1つが長期休館したことが大きい影響があったのではないかという分析があつて、多分そうだなと思いつつ、これは事業を始めるときには想定していなかったものだったのかというのをお聞きしたいところです。

事務局

宿泊施設の休館休業については、加味しないで目標値を設定してしまったということです。そこら辺ももう少し調査をした上で、目標値を設定すべきだったと考えています。

(4) 米沢市公共施設等総合管理計画に係る事業実施状況について
(5) 米沢市公共施設等総合管理計画個別施設計画の改定について
(資料4、5-1、5-2について事務局から説明)

委員

施設はだいぶ予算がかかるということで、維持も大変だと思いますけれども、陸上競技場が米沢女子短期大学の脇にあつたり、体育館、相撲場等の施設が市内に点在しているので、やはり将来的には総合運動公園の北の方には土地もありますし、簡単ではないですけどもそこに集約して、文化会館も大分老朽化してなかなか利活用ができない施設となつ

ておりますので、長い目で見て計画に入れていただけたらと思います。

事務局

今、委員の方から、長い目で見てというようなお話が最後にあったわけですが、今回のこの公共施設等総合管理計画については、まさに10年20年という長い期間において、どのように施設を管理していくかというような結果になっていると思います。その計画の中においては、現時点ではスポーツ施設、文化施設について、基本的には維持というようなことで考えております。

まずは、利用者の方々の安全、事故防止確保しながら安心して使っていただけるように、必要最小限の可能な範囲での維持管理に努めながら、将来的な方向性については計画の策定の中で、また改めて検討して参りたいと思います。

【4 閉会】

省略